

# 気仙沼地域漁業復興プロジェクト(近海まぐろはえ縄Ⅱ)

宮城県気仙沼市

事業実施者:気仙沼遠洋漁業協同組合

使用船舶名:第11八幡丸他 計8隻

支援期間:平成28年4月1日～平成31年4月15日

(近海まぐろはえ縄Ⅱ)

## (取組の内容)

- 協業化による経営の合理化:協業体での計画的代船建造、漁船のリニューアルによって近海まぐろはえ縄船団の維持発展を図る
- 修理等の共同発注:震災以降の諸コスト高騰対策として共同発注によりコスト削減を図る
- 使用釣数削減と省人化:使用釣数の削減により14名体制の操業の確立
- 漁獲物の付加価値向上:短期航海の継続実施と漁獲物の品質向上について買受加工との意見交換を実施
- 高度衛生管理市場の整備:安心安全な水産物の提供

## (事業の成果)

- 事業参加6社の出資による気仙沼かなえ漁業㈱を平成30年10月に設立。平成31年2月に第1船の建造に着手した。
- 共同発注により、修繕費は1.8%、漁具費は4.8%それぞれ削減された。
- 使用釣数を3,500本から3,080本に削減し、従来より1名減の14名体制での操業を確立した。
- ▲高鮮度化の取組みにより、メカジキの単価(平均979円/kg)は計画(980円/kg)をほぼ達成したが、ヨシキリの単価(同162円/kg)は計画(200円/kg)を下回った。原因はサメの国際需要等の変化による。
- 高度衛生管理市場が平成31年3月に完成し、4月より供用開始された。

